

地域リハビリテーション支援センター指定（令和2年4月）に係る調査票

医療機関名：武蔵野赤十字病院

記入年月日：令和元年10月18日

1 病院の概要					
所在地	東京都武蔵野市境南町1-26-1 (北多摩南部保健医療圏)				
開設年月日	昭和24年 11月 30日				
設置目的	戦災により都内医療機関の多くが焼失したことを受け、都民の衛生・医療面が憂慮される状況にあったため、その解消を目的に日本赤十字社東京都支部管下の病院として設置された。以後、北多摩南部保健医療圏における中核病院としての地域医療の展開、高度救急医療の提供、また災害時における医療救護活動を行うことを目的としている。				
診療科目	総合診療科／膠原病・リウマチ内科／感染症科／腎臓内科／血液内科／腫瘍内科／内分泌代謝科／循環器科／消化器科／呼吸器科／神経内科／外科／乳腺科／心臓血管外科／呼吸器外科／整形外科／産婦人科／小児科／新生児科／耳鼻咽喉科／眼科／皮膚科／泌尿器科／放射線科／脳神経外科／心療内科・精神科／形成外科／麻酔科／リハビリテーション科／特殊歯科・口腔外科				
指定医療	保険医療機関（国民健康保険法・健康保険法）生活保護法指定医療機関 その他				
病床数	一般病床 591床（うちリハビリ専門病床 0床）				
訪問・通所リハビリ	<input type="checkbox"/> 訪問リハビリ（ <input type="checkbox"/> 医療保険 <input type="checkbox"/> 介護保険） <input type="checkbox"/> 通所リハビリ（介護保険）				
併設施設	救命救急センター、脳卒中センター、医療連携センター、在宅介護支援センター他				
2 指定要件の充足状況					
①	診療体制				
	地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療体制を有すること				
		平成30年度	平成31年度・令和元年度 (4月から9月まで)		
医療従事者	専従医師	常勤	223 名	常勤	229 名
		非常勤	14.9 名	非常勤	16.0 名
	(うちリハ専門医)	常勤	1 名	常勤	1 名
		非常勤	0 名	非常勤	0 名
	理学療法士	常勤	17 名	常勤	17 名
		非常勤	0 名	非常勤	0 名
	作業療法士	常勤	9 名	常勤	9 名
非常勤		0 名	非常勤	0 名	
言語聴覚士	常勤	2 名	常勤	2 名	
	非常勤	0 名	非常勤	0 名	
ソーシャルワーク従事者	常勤	12 名	常勤	10 名	
	非常勤	0 名	非常勤	0 名	
医療施設	施設基準	<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）		呼吸器リハ料（Ⅰ）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）		がんリハ料 心大血管リハ料（Ⅰ）	
〔 〕					

② 連携体制						
他の医療機関、福祉施設等との連携、協力関係を有すること						
		平成30年度		→	平成31年度・令和元年度（4月から9月まで）	
医療機関との連携状況	紹介患者数 （うちリハ部門）	25,871 0	人 人		11,380 0	人 人
	逆紹介患者数 （うちリハ部門）	25,581 0	人 人		10,969 0	人 人
	紹介率 （うちリハ部門）	94 0	% %	→ →	96 0	% %
	逆紹介率 （うちリハ部門）	93 0	% %	→ →	93 0	% %
	連携病院数 （うちリハ部門）	45 0	施設 施設	→ →	46 0	施設 施設
	連携診療所数 （うちリハ部門）	937 0	施設 施設	→ →	962 0	施設 施設
	福祉施設等との連携状況	0 0	施設 施設	→ →	0 0	施設 施設
<p>※急性期、回復期、維持期の流れを踏まえたリハビリテーションにおける連携状況を記入してください。</p> <p>（ 脳卒中・大腿骨頸部骨折の患者が転院する際には当医療圏で作成した連携パスを使用して転院している。それ以外の疾患でもリハビリサマリを作成して送付している。自宅退院時でも作成し、介護保険でのケアプラン作成時に活用している。また、必要に応じて自宅を訪問し、家屋評価をしている。 ）</p>						
③ 相談体制						
地域の医療機関、福祉施設等からのリハビリテーションに関する相談等に応じ、必要な情報を提供できる体制にあること						
相談窓口設置の有無		取組状況				
有		①当病院のホームページ上にリハビリテーション支援センター相談窓口用のメールアドレスを掲載。地域の医療機関・福祉施設・ケアマネジャーからのリハビリテーションに関する相談を当リハビリテーション科職員が受け付けている。				
無		②リハビリテーション科医師・理学療法士が各地域で実施されている地区別ケース検討会に出向き、提示された症例についてリハビリテーションの視点でアドバイスを行っている。				
④ 研修体制						
地域のリハビリテーションに携わる従事者、家族の会、又はボランティア等関係団体に対し、必要な研修を実施できる体制にあること						
研修実施の有無		取組状況				
有		地域リハビリテーション支援センターとして当リハビリテーション科職員が主体となって地域のリハビリテーション従事者向けに症例検討会、講演会を開催したり、ケアマネジャー向け研修会を実施する体制を構築している。				
無						

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

I 事業実施体制等				
1	医療機関名			
	武蔵野赤十字病院			
2	二次保健医療圏名			
	北多摩南部保健医療圏			
3	事業実施予定年月日			
	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで			
4	事業実施予定地域 ※区市町村名を記入してください			
	二次保健医療圏内		二次保健医療圏外	
	狛江市・調布市・三鷹市・武蔵野市・府中市・小金井市		西東京市・杉並区・世田谷区・国分寺市	
5	地域リハビリテーション支援センターの運営体制（予定）			
	設置場所	武蔵野赤十字病院リハビリテーション科内		
	職種・人数 (R2.4.1現在)	・医師	常勤：2名 非常勤：0名	・言語聴覚士 常勤：2名 非常勤：0名
		（うちリハ専門医）	常勤：1名 非常勤：0名	・ソーシャルワーカー等 常勤：0名 非常勤：0名
		・理学療法士	常勤：17名 非常勤：0名	・事務職員 常勤：2名 非常勤：0名
・作業療法士		常勤：9名 非常勤：0名	・その他 常勤：名 非常勤：名	
6	予定する連携施設 ※連携施設が複数ある場合は、別紙による説明可			
	連携予定	連携予定施設名称・所在地・連携内容		
	有	(医療・介護施設名) (所在地) (連携内容) ①吉祥寺南病院 ①武蔵野市吉祥寺南3-14-4 ②ハウスグリーンパーク ②三鷹市新川5-6-24	地域内の介護保険事業所で働くリハビリテーション職種やケアマネジャーに対する講習会・講義の実施	
無				
7	予定する協力施設 ※協力施設が複数ある場合は、別紙による説明可			
	協力予定	協力予定施設名称・所在地・連携内容		
	有	(医療・介護施設名) (所在地) (協力内容) ①杉並リハビリテーション病院 ①杉並区西荻北2-5-5 ②武蔵野陽和会病院 ②武蔵野市緑町2-1-33 ③三鷹ロイヤルの丘 ③武蔵野市緑町2-3-21	地域で働くケアマネジャー、リハビリテーション専門職種の抱えている問題の洗い出しや助言	
無				

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性（東京都保健医療計画）】

＜計画期間：平成30年4月1日から令和6年3月31日まで＞

地域リハビリテーション支援体制の充実

今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化

地域リハビリテーション関係者の連携強化

地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状と課題について意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進する。

災害時リハビリテーション支援体制の構築

大規模災害発生後、被災者に対する生活不活発病予防、居住環境や福祉用具等の調整などのリハビリテーション支援ができるよう、支援センターを中心に、地域の関係機関と連携し、災害時リハビリテーション支援体制の構築に取り組む。



II 事業目標（令和2年度から令和4年度まで）

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針（全体目標）

当地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針は

1. 地域で働くリハビリテーション専門職種へ講演会を通じて知識教育
2. 現場経験の少なさを補う形での症例検討会等の実施
3. 地区別ケース検討会等を通して介護支援専門員へリハビリテーションの知識・技術教育
4. 脳卒中連携パスにおける病院と在宅部門や自治体との連携強化のため情報交換会の開催
5. 地域医師会のかかりつけ医等へリハビリテーションの連携強化のために情報交換会を開催
6. 東京都理学療法士協会と連携して医療圏内の地域リハビリテーションの問題を抽出し、地域連携強化の推進
7. 災害時リハビリテーション支援体制の構築のための講習会の開催する
8. 災害時リハビリテーション支援体制構築のために地域防災訓練等に参加

※各項目の取組目標は次頁以降に記載

II 事業実施内容等（必須の役割） ※全センター共通

スペースが足りない場合は、別紙での説明可

地域リハビリテーション力の向上							
1	<p>取組目標</p> <p>(1) 地域で廃用症候群患者を減少させるためリハビリテーション専門職に対する勉強会を実施 糖尿病などの内部疾患を合併した患者への対応やリハビリの対象疾患などの勉強会を実施 リハビリテーションの方法論などについて症例検討会を実施</p>						
	<p>PT・OT・ST等対象の症例発表会など【連携施設の活用可】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>テーマ（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回／令和2年度</td> <td>当該医療圏・近隣市区内の病医院・介護保険施設・事業所、参加約20施設、参加者100名前後で急性期から維持期までの症例検討会を計画。</td> </tr> <tr> <td>2回 (令和3・4年度)</td> <td>上記症例検討会を定期的に実施していく。</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	テーマ（予定）	1回／令和2年度	当該医療圏・近隣市区内の病医院・介護保険施設・事業所、参加約20施設、参加者100名前後で急性期から維持期までの症例検討会を計画。	2回 (令和3・4年度)	上記症例検討会を定期的に実施していく。
	実施予定回数	テーマ（予定）					
	1回／令和2年度	当該医療圏・近隣市区内の病医院・介護保険施設・事業所、参加約20施設、参加者100名前後で急性期から維持期までの症例検討会を計画。					
	2回 (令和3・4年度)	上記症例検討会を定期的に実施していく。					
	<p>かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供【連携施設の活用可】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>テーマ（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3回／令和2年度</td> <td>連携している武蔵野運動器リハビリテーション研究会とともに診療所向け研修会を開催する（知識・最新情報提供）</td> </tr> <tr> <td>6回 (令和3・4年度)</td> <td>上記の内容で継続して研修会を開催する</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	テーマ（予定）	3回／令和2年度	連携している武蔵野運動器リハビリテーション研究会とともに診療所向け研修会を開催する（知識・最新情報提供）	6回 (令和3・4年度)	上記の内容で継続して研修会を開催する
	実施予定回数	テーマ（予定）					
	3回／令和2年度	連携している武蔵野運動器リハビリテーション研究会とともに診療所向け研修会を開催する（知識・最新情報提供）					
	6回 (令和3・4年度)	上記の内容で継続して研修会を開催する					
	<p>地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>有・無</td> <td>(団体・施設名) 武蔵野運動器リハビリテーション研修会</td> </tr> </tbody> </table>	有・無	(団体・施設名) 武蔵野運動器リハビリテーション研修会				
有・無	(団体・施設名) 武蔵野運動器リハビリテーション研修会						
<p>これまでの取組状況</p> <p>(4) これまでは介護支援専門員・リハビリテーション専門職への教育や啓蒙を中心・優先に事業を行ってきたため、かかりつけ医に対するリハビリテーション知識・技術情報提供は十分ではなかった。今後は、在宅医療・在宅介護のキーパーソンであるかかりつけ医に対してリハビリテーション知識・技術の情報提供に力を入れていく。</p>							
<p>訪問・通所リハビリテーション分野への支援</p>							
2	<p>取組目標</p> <p>(1) ①在宅で自立した生活を目指すためのアプローチや指導法について介護従事者に情報提供を行うとともに、 リハビリテーションを進めるうえでの相談支援を行う。 ②ケアマネジャーに対して在宅リハビリテーションサービスの利用方法を指導し、相談支援を行う</p>						
	<p>リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定【連携施設の活用可】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5回／令和2年度</td> <td>症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加</td> </tr> <tr> <td>10回 (令和3・4年度)</td> <td>上記取組の継続</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	5回／令和2年度	症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加	10回 (令和3・4年度)	上記取組の継続
	実施予定回数	取組予定内容					
	5回／令和2年度	症例検討会の実施 各自治体が開催する地区別ケース検討会へ参加					
	10回 (令和3・4年度)	上記取組の継続					
<p>ケアマネジャーへの研修【連携施設の活用可】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3回／令和2年度</td> <td>東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部会作成のテキストを使用しての講習会を実施。圏域内各市で1回ずつ実施を目標</td> </tr> <tr> <td>5回 (令和3・4年度)</td> <td>上記取組の継続</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	3回／令和2年度	東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部会作成のテキストを使用しての講習会を実施。圏域内各市で1回ずつ実施を目標	5回 (令和3・4年度)	上記取組の継続	
実施予定回数	取組予定内容						
3回／令和2年度	東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部会作成のテキストを使用しての講習会を実施。圏域内各市で1回ずつ実施を目標						
5回 (令和3・4年度)	上記取組の継続						
<p>地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>有・無</td> <td>(団体・施設名) 北多摩南部保健医療圏各市介護保険課</td> </tr> </tbody> </table>	有・無	(団体・施設名) 北多摩南部保健医療圏各市介護保険課					
有・無	(団体・施設名) 北多摩南部保健医療圏各市介護保険課						

2	ケアプラン相談支援【連携施設の活用可】					
	(4)	<table border="1"> <tr> <th>相談受付方法</th> <th>相談受付日・時間</th> </tr> <tr> <td>電子メール・FAXで相談受付 地区別ケース検討会への参加</td> <td>随時</td> </tr> </table>	相談受付方法	相談受付日・時間	電子メール・FAXで相談受付 地区別ケース検討会への参加	随時
	相談受付方法	相談受付日・時間				
	電子メール・FAXで相談受付 地区別ケース検討会への参加	随時				
	(5)	これまでの取組状況 病院ホームページ上に地域リハビリテーション支援センターの紹介と相談受付メールアドレス・FAX番号の表示。東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部作成のテキストを使用したの講習会では地域リハビリテーション支援センターの紹介と相談メールアドレスの提示を行ってきた。ケアマネジャー等からの相談にはリハビリテーション専門医が対応している。				
平成31年度・令和元年度上半期（4月～9月）のケアプラン相談支援受付実績						
1件						

地域リハビリテーション関係者との連携強化																
3	(1)	取組目標 これまでは急性期病院と回復期病院や介護保険施設・事業所のリハビリテーション専門職と連携強化に力を入れてきたが、今後は地区医師会の診療所に所属しているリハビリテーション専門職との地域連携を強化していく。														
	(2)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">設置を予定する地域協議会（連絡会）</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>参加予定機関・施設（参加予定職種）</th> <th>実施予定回数</th> </tr> <tr> <td>①武蔵野運動器リハビリテーション研究会</td> <td>①武蔵野市・三鷹市・調布市内理学療法士を雇用している診療所</td> <td rowspan="2">5回／26年度</td> </tr> <tr> <td>②三鷹・武蔵野地区リハビリテーション連絡会</td> <td>②北多摩南部保健医療圏、杉並区・世田谷区他、約40施設のPT・OT・ST</td> </tr> <tr> <td>③三鷹武蔵野勉強会</td> <td>③武蔵野市・三鷹市の医療機関4・老人保健施設2 合計6施設</td> <td>10回（3年間計）</td> </tr> </table>	設置を予定する地域協議会（連絡会）			名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）	実施予定回数	①武蔵野運動器リハビリテーション研究会	①武蔵野市・三鷹市・調布市内理学療法士を雇用している診療所	5回／26年度	②三鷹・武蔵野地区リハビリテーション連絡会	②北多摩南部保健医療圏、杉並区・世田谷区他、約40施設のPT・OT・ST	③三鷹武蔵野勉強会	③武蔵野市・三鷹市の医療機関4・老人保健施設2 合計6施設	10回（3年間計）
	設置を予定する地域協議会（連絡会）															
名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）	実施予定回数														
①武蔵野運動器リハビリテーション研究会	①武蔵野市・三鷹市・調布市内理学療法士を雇用している診療所	5回／26年度														
②三鷹・武蔵野地区リハビリテーション連絡会	②北多摩南部保健医療圏、杉並区・世田谷区他、約40施設のPT・OT・ST															
③三鷹武蔵野勉強会	③武蔵野市・三鷹市の医療機関4・老人保健施設2 合計6施設	10回（3年間計）														
(3)	これまでの取組状況 ①については、介護保険外の患者のリハビリテーション継続の必要性から、診療所等でリハビリテーションを提供する体制を構築する必要がある。平成30年度には3回にわたり合計約40名の診療所医師、約300名のリハビリテーション関係職種に勉強会を実施した。②については、過去3年間、症例検討会・講習会を実施し、毎回100名ほどのPT・OT・STの参加を得ている。③は2回/月で症例検討会を実施。毎回30名前後の参加を得ており、活発な討議が行われている。今後も継続していく。															

Ⅲ 事業実施内容等（選択する役割） スペースが足りない場合は、別紙での説明可

区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可			
1	支援予定	実施自治体名	支援内容
	○有 ○無	武蔵野市	武蔵野市主催の介護支援専門員研修会の中で症例検討会を実施する。参加予定は約40名。
	これまでの取組状況 これまでも、1回/年のペースで症例検討会を実施。介護支援専門員が担当している症例の中から生活機能維持に難渋しているケースを提示し、リハビリテーション専門医が助言を与えている。例年参加者は、約40名/回。		

脳卒中医療連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
2	支援予定	支援内容		
	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	北多摩南部脳卒中医療連携事業が開催する市民公開講座および医療者向け研修会を支援することで一般市民・ケアマネジャーに各病期の医療・介護におけるリハビリテーションの利用法・意義について啓もうしていく。		
これまでの取組状況				
<p>これまでは北多摩南部脳卒中地域連携診療計画書の運営の中で、①リハビリテーション部門の様式作成の際、各病院・介護保険施設・ケアマネジャーの記載内容等について意見集約を行った。②今後の脳卒中地域連携の在り方についての意見交換の場として、地域の医療連携実務担当者連絡会を開催した。</p>				
高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
3	支援予定	支援内容		
	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	<p>①北多摩南部高次脳機能障害支援普及事業と共に高次脳機能障害者の支援について考えていく。 ②武蔵野市高次脳機能障害者関係機関連絡会・調布市高次脳機能障害者支援促進事業や関係機関連絡会・三鷹市とは高次脳機能障害者の在宅生活支援・就労支援について医療者側の立場から福祉側の人材と問題点を共有していく。</p>		
これまでの取組状況				
<p>①北多摩南部高次脳機能障害支援普及事業の委員会に参加し、意見交換を行った。 ②各地域の高次脳機能障害者支援団体の主催する研修会の企画検討会に参加して助言等を行ったり、地域の福祉職などと意見交換を行った。また、福祉職に対する研修会にも講師を派遣し、高次脳機能障害に対する病院の取組</p>				
地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その1）				
4	区分		実施予定	予定有とした項目については次頁も記入
	(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(4)	地域の関係団体の支援	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(5)	連絡会、事例検討会の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	

地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その2）					
地域のリハビリテーション従事者の研修、援助					
(1)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	若手リハビリテーション従事者は、障害の要因となった内部疾患などの合併症に対する知識が不十分である。	基礎疾患や内部疾患に関する知識を充実し、地域で働く若手従事者の育成を図る	講義の実施	在宅で働くリハビリテーション専門職（職務経験3年未満）	6回 (3年間)
これまでの取組状況					
『心不全』・『パーキンソン病』・『呼吸器疾患』等について医師・薬剤師・理学療法士等から地域で働くリハビリテーション関係職種向けの研修会を開催した。					
直接地域住民と接する相談機関の支援					
(2)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	在宅で行うリハビリテーションをアドバイスできる人材が少ない	地区別ケース検討会でケアマネジャー等が一般的にもつ疑問点を抽出し、解決を図る	リハビリテーションの指導	ケアマネジャー	6回 (3年間)
これまでの取組状況					
武蔵野市地域ケア会議にリハ関連職種を派遣して、ケアマネージメントに対するリハビリテーションに係る教育を行ってきた					
福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援					
(3)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	ケアマネジャーや住宅改修業者などが福祉用具・住宅改修などの適応がわからない	在宅療養患者の個別ケースの評価と福祉用具のマッチングができない	電子メールにより相談受付	ケアマネジャー	随時 (3年間)
これまでの取組状況					
自治体主催の住宅改修事業者向け講習会での講義等を実施し、福祉用具や住宅改修に対する理解を深めた。					
地域の関係団体の支援					
(4)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	地域で高次脳機能障害者に対する評価ができる人材が少ない	高次脳機能障害者の評価ができる人材を育成する	講習会の参加講習会の開催支援	保健師 福祉職員	3回 (3年間)
これまでの取組状況					
武蔵野市・調布市・三鷹市高次脳機能障害関係機関連絡会にファシリテータとして参加し、ケアマネジャー等とケースについてディスカッションを行い、知見を深めた					
連絡会、事例検討会の実施					
(5)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	若手リハビリテーション従事者は経験症例が少ない	症例検討会を通じて経験が浅い若手従事者の事例対応能力を高める	症例検討会の実施	在宅で働くリハビリテーション専門職（職務経験3年未満）	3回 (3年間)
これまでの取組状況					
症例検討会を1回/年で実施。平成25年度は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが提示した検討症例数は7例、約100名の参加者が集まり、好評であった。					
その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業					
(6)	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
	地域のリハビリテーション専門職と専門職の機能団体との情報共有が不十分である	機能団体と地域が抱える問題点やニーズを共有し、解決を図る	団体が開催する勉強会・講演会に協力する	地域で働くリハビリテーション専門職	6回 (3年間)
これまでの取組状況					
東京都理学療法士協会北多摩ブロックと協力して症例検討会を実施。また第38回東京都理学療法学会大会を後援し、理学療法の普及啓発に寄与した。					